

2017年11月14日

報道関係各位

11月14日は世界糖尿病デー

IDF が世界の糖尿病の現状を報告

世界糖尿病デー実行委員会（一般社団法人日本糖尿病学会・公益社団法人日本糖尿病協会）は、11月14日の世界糖尿病デーに国内の著名な建造物をブルーにライトアップし、糖尿病の正しい知識を啓発するイベントを全国で実施します。

また本日、IDF（International Diabetes Federation／国際糖尿病連合）は、世界の糖尿病人口に関する新しい数字を発表しました。それによりますと、現在、成人の11人に1人が糖尿病患者で、2015年の総患者数より1,000万人増加して4億2500万人となりました。2045年までに約7億人に増加すると予測されます。データは、IDF Diabetes Atlas 第8版としてホームページで公開されています。

糖尿病は、放置すると網膜症、心疾患、腎臓、神経、足病変などの重篤な合併症をもたらす疾患です。推定患者数のうち、2人に1人は糖尿病と診断されずにおり、さらに3億5000万人以上の成人が2型糖尿病の予備群とされています。したがって、早期のスクリーニングと診断の重要性が強調されています。また、糖尿病と診断された人の3分の2は働く世代にあり、65歳以上の高齢糖尿病患者数は1億2280万人ということです。

「糖尿病は、致命的な個人的苦しみをもたらし、家族を貧困に陥らせる病気です」と、Diabetes Atlas 編集委員長でIDF次期会長のNam Han Cho氏は述べています。「糖尿病治療を発展させ、糖尿病がもたらす地球規模の困難を克服するためには、集中的でマルチセクターの取組みに拍車をかけなければなりません。もし今、2型糖尿病を予防しすべての糖尿病の管理を向上させる行動を取らないと、次の世代を危機にさらすことになります」

IDFと加盟する160カ国以上の会員は、今年の世界糖尿病デーで女性と糖尿病に焦点を当てました。現在2億人以上の女性が糖尿病を発症しており、特に発展途上国において安価な糖尿病予防、早期発見、早期診断、治療へのアクセスが不足しています。糖尿病を持つ女性は貧困層であることが多く、収入を得る道を持たず差別や敵対的な社会環境に置かれるという複数の障壁に直面します。糖尿病を放置することはまた、母子の健康を脅かし、6人に1人の新生児に影響を与え、周産期や出産後の合併症発症をもたらします。

「成人女性や少女は重要なターゲットであり、将来の糖尿病発症を妨げ健康な生活スタイルを身につけてもらうことが重要です。そしてそれは糖尿病を管理するための薬や医療、教育、情報などを彼女たちが手頃で公平に手に入れられるようになることで獲得でき、彼女たちが健康な生活を促進する力を身につけることにつながります」とIDF会長のShaukat Sadikot医師は述べています。

IDF Diabetes Atlas global estimates, 2017 and 2045

	2017	2045
世界の人口	75 億人	95 億人
成人人口 (20-79 歳)	48 億 4000 万人	63 億 7000 万人
糖尿病のデータ (20-79 歳)		
世界の有病率	8.8% (7.2-11.3%)	9.9% (7.5-12.7%)
糖尿病患者数	4 億 2500 万人 (3 億 4600 万~5 億 4500 万人)	6 億 2860 万人 (4 億 7700 万~8 億 0870 万人)
糖尿病での死亡数	400 万人	
糖尿病関連の医療費 (20-79 歳)		
	7270 億 USD	7760 億 USD
妊娠時の高血糖状態 (20-49 歳)		
割合	16.2%	
出生数	2130 万人	
耐糖能異常 (予備群) (20-79 歳)		
世界の有病率	7.3% (4.8-11.9%)	8.3% (5.6-13.9%)
予備群の数	3 億 5210 万人 (2 億 3350 万~5 億 7730 万人)	5 億 3160 万人 (3 億 5380 万~8 億 8390 万人)
小児 1 型糖尿病 (0-19 歳)		
小児 1 型糖尿病患者数	110 万 6500 人	
毎年新たに診断される患儿数	13 万 2600 人	

成人 (20-79 歳) 糖尿病患者数 上位 10 カ国

順位	国	2017 年患者数	順位	国	2045 年患者数
1	中国	1 億 1440 万人	1	インド	1 億 3430 万人
2	インド	7290 万人	2	中国	1 億 1980 万人
3	アメリカ	3020 万人	3	アメリカ	3560 万人
4	ブラジル	1250 万人	4	メキシコ	2180 万人
5	メキシコ	1200 万人	5	ブラジル	2030 万人
6	インドネシア	1030 万人	6	エジプト	1670 万人
7	ロシア	850 万人	6	インドネシア	1670 万人
8	エジプト	820 万人	8	パキスタン	1610 万人
9	ドイツ	750 万人	9	バングラデシュ	1370 万人
9	パキスタン	750 万人	10	トルコ	1120 万人

関連ウェブサイト ■

IDF	http://www.idf.org/
IDF Diabetes Atlas	http://www.diabetesatlas.org
世界糖尿病デー実行委員会	http://www.wddj.or.jp/
日本糖尿病協会	http://www.nittokyo.or.jp/
日本糖尿病学会	http://www.ids.or.jp/
日本医師会	http://www.med.or.jp/
日本歯科医師会	http://www.ida.or.jp/
日本糖尿病対策推進会議	http://www.med.or.jp/tounyoubyou/index.html
厚生労働省 国民健康・栄養調査	http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html

★世界糖尿病デー（11月14日）の由来

1921年に糖尿病治療に必要なインスリンを発見したフレデリック・バンティング博士（カナダ／1891-1941）の誕生日。シンボルカラーのブルーは、国連色とどこまでも広がる青空の色から採用されました。

★世界糖尿病デー実行委員会とは

2006年の国連決議を受けて、日本国内の糖尿病啓発を促進するために日本糖尿病協会と日本糖尿病学会により設立された任意団体です。世界糖尿病デーに関する国内の啓発活動を統括し、各地のブルーライトアップや地域密着型イベントに補助金を支出するほか、多様なメディアを利用して糖尿病啓発を行っています。

★IDFとは

International Diabetes Federation (IDF／国際糖尿病連合)は、165カ国・地域から230以上の糖尿病関連団体が参加する組織で、1950年から世界の糖尿病関連団体をリードし、増加する糖尿病患者とその予備群を支援する活動を展開しています。2006年の糖尿病に関する国連決議採択では、世界保健機関（WHO）とともに主導的な役割を果たしました。日本糖尿病学会・日本糖尿病協会もIDFの正会員です。

★IDF Diabetes Atlasとは

IDFが発行するDiabetes Atlasは、2000年に初版発行後、2年に一度、IDFと世界の専門家が協力し、糖尿病患者数、発症率、死亡率、世界・地域・国レベルの医療費支出などのデータを収録しています。

◇国内ブルーライトアップ、イベントに関するお問い合わせ先◇

公益社団法人日本糖尿病協会 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-2-4 8F

TEL : 03-3514-1721 FAX : 03-3514-1725

E-mail : office@nittokyo.or.jp